

緑が丘

学校教育目標

自ら考え
正しい行動のできる
心豊かな生徒の育成

緑が丘中学校

学校通信 NO. 12

令和6年3月1日発行

「伝統を引き継ぎつつ新しい一歩を踏み出す準備をすすめる」

2月とは思えない暖かい日が続いたかと思うと冷たい雨が降り続くなどいつもと違う気候の変化に戸惑いを感じます。膨らみ始めた桜のつぼみや芽を出した花壇のチューリップもきっと戸惑っていることでしょう。穏やかな春が待ち遠しいこの頃です。

さて、先日淡河八幡神社のお弓神事を見る機会がありました。お弓神事は日本各地で行われており、中世から伝わる作法で、五穀豊穡や厄災祓いの祈りを込めてまことに弓を引き絞る神事です。かがり火に照らされた荘厳な



淡河八幡神社 お弓神事

雰囲気の中で行われた神事に伝統のすばらしさとそれを引き継いでいくことの大切さを感じました。

今年度は、学校生活も以前の形に戻り、体育祭や文化祭、人権作文発表会、学年合唱祭などの行事を実施することができました。生徒たちはどの行事でも真剣に、時には笑顔を爆発させて全力で取り組みました。そのような中で最も感動したのが合唱祭です。3年ぶりに行われた合唱祭。誰も経験がないうえ、音楽の授業でも3年間大きな声を出して歌うことができませんでした。さらにインフルエンザの流行による延期。これまでのような合唱ができるのだろうかという不安がありました。しかし、練習を重ねていく中、互いに刺激しあいながら創り上げた合唱は毎年先輩の姿を目標に階段を上ってきたような素晴らしいものでした。新しい伝統を創り上げた生徒の皆さんを誇りに思います。

神事は、いつの時代も変わらないように見えて、少しずつ形を変えています。お弓神事が的の当たり外れを競うものではないように、大切なのは長年受け継がれてきた意味や思いだと思います。学校行事も同じように大切なものを引き継ぎながら工夫して実施していきたいと考えます。

3月を迎え令和5年度もいよいよ最後の月となりました。今年、機会あるごとに生徒の皆さんには「振り返り、自分のできたことに自信を持つ」ということをお話してきました。その時々に分のできることを精一杯やるのができたでしょうか。そして、人と比べることなく分のできたことに自信を持つのができたでしょうか。自信を持つことは分の成長につながります。卒業式・修了式を目前に控えた学年末、3月分今年度を締めくくる大きな時となります。進学や進級にむけてしかりとした心構えをする絶好の機会と捉え新しい1歩を踏み出す準備をしてもらいたいと思います。

さて、保護者や地域の皆様には、この1年間多くの面で学校運営にご理解とご協力をいただきました。改めてお礼申し上げます。昨年12月に学校評価のために、保護者の皆様にアンケート調査を依頼しましたところ多数の方にご回答をいただきました。アンケート結果を基に学校関係者評価委員会を2月22日(木)に開催し、学校評価の結果について協議いただきました。作成いただきました学校関係者評価書は3月中旬にはホームページで公開いたしますのでそちらも合わせてご覧ください。来年度も引き続きよろしくお願いたします。

校長 西臺 士郎

《新入生入学説明会(2月1日(木))》

4月から入学する6年生が、中学校についての説明を聞いたり、授業や部活動の体験をしたりしました。新しい生徒会の役員によるクイズ形式の学校紹介に一生懸命考えて手を挙げて答えたり、授業体験で少し緊張しながら先生の説明を聞いたり、部活動体験で1・2年生の「先輩」から練習の方法を教えてもらったりして、中学校の雰囲気を体いっぱい吸収することができたようでした。4月の入学が楽しみです。



《トライやる・ウィーク発表会(2月16日(金))》

2年生が、11月13日(月)から1週間、47の事業所に分かれて活動したことを発表する会を、次年度活動する1年生も同席して行いました。代表の6つの事業所で活動した2年生が、寸劇やプレゼンを使って、分かりやすく工夫して発表しました。その後、すべての事業所での活動の様子をスライドショーの動画で紹介しました。2年生の大きく成長した様子が伺える、素晴らしい発表会でした。1年生も、自分たちの活動のイメージを持ちやすくなったことでしょう。しっかり活かしてほしいと思います。



3月の行事予定表は、保護者専用ページに載せています。